

令和2年玉村町議会第6回臨時会会議録第1号

令和2年10月29日（木曜日）

議事日程 第1号

令和2年10月29日（木曜日）午後2時30分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第64号 令和2年度玉村町一般会計補正予算（第10号）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（11人）

1番	小林一幸君	2番	新井賢次君
3番	原利幸君	4番	月田均君
6番	柳沢浩一君	7番	石内國雄君
8番	高橋茂樹君	9番	浅見武志君
10番	久保留美子君	11番	宇津木治宣君
13番	三友美恵子君		

欠席議員（2人）

5番	渡邊俊彦君	12番	備前島久仁子君
----	-------	-----	---------

説明のため出席した者

町長	石川眞男君	副町長	古橋勉君
総務課長	石関清貴君	経済産業課長	齋藤恭君

事務局職員出席者

議会事務局長	田村進	庶務係兼 議事調査係長	岡部敦
庶務係兼 議事調査係	平野里都子		

○開会・開議

午後 2 時 3 0 分開会・開議

◇議長（三友美恵子君） 5 番渡邊俊彦議員、1 2 番備前島久仁子議員は欠席です。

ただいまの出席議員は 1 1 名であります。定足数に達しておりますので、これより令和 2 年玉村町議会第 6 回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。



○日程第 1 会議録署名議員の指名

◇議長（三友美恵子君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、玉村町議会会議規則第 1 2 7 条の規定により、7 番石内國雄議員、8 番高橋茂樹議員の兩名を指名いたします。



○日程第 2 会期の決定

◇議長（三友美恵子君） 日程第 2、会期の決定について。

本臨時会の会期につきましては、本日午後 1 時 3 0 分より議会運営委員会を開催し、審査をしておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。

高橋茂樹議会運営委員長。

〔議会運営委員長 高橋茂樹君登壇〕

◇議会運営委員長（高橋茂樹君） それでは、議会運営委員会から報告します。

令和 2 年玉村町議会第 6 回臨時会が開催されるに当たり、本日午後 1 時 3 0 分より役場 4 階会議室において議会運営委員会を開催し、議事日程を作成いたしましたので、報告申し上げます。

詳細につきましては、お手元に配付してあるとおりでございます。

本臨時会の会期は、本日 1 日限りといたします。

町長から提案される議案は、補正予算に関する議案 1 件であります。

本臨時会の効率的かつ円滑な議会運営ができますよう各位のご協力をお願い申し上げまして、報告といたします。

◇議長（三友美恵子君） 以上で議会運営委員長の報告を終了いたします。

お諮りいたします。

令和 2 年玉村町議会第 6 回臨時会の会期は、ただいま議会運営委員長より報告のありましたとおり、本日 1 日限りとしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（三友美恵子君） ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りと決定いたしました。



○日程第3 議案第64号 令和2年度玉村町一般会計補正予算（第10号）

◇議長（三友美恵子君） 日程第3、議案第64号 令和2年度玉村町一般会計補正予算（第10号）を議題といたします。

これより提案理由の説明を求めます。

町長。

〔町長 石川眞男君登壇〕

◇町長（石川眞男君） お世話になります。議案第64号 令和2年度玉村町一般会計補正予算（第10号）についてご説明申し上げます。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に131万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を155億5,708万8,000円とするものでございます。

本補正予算は、7月臨時会において新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域経済の回復に向けてご議決いただきました、町内で使用できるプレミアム率50%の商品券発行事業について、増額をさせていただくものでございます。

具体的には、商工費のプレミアムつき商品券発行事業について、当初の計画ではプレミアム率を50%として、1万5,000円分使用できる商品券を1万円で3万セット販売し、4億5,000万円相当の消費を喚起する事業でございました。8,427名もの町民の皆さんから、合計で3万4,339セットの商品券購入の申込みがあり、申込者多数により抽せんでの販売となりましたが、抽せんの結果、7,303名の方が当選し、1,124名の方々が惜しくも落選となりました。その後、当選者に対して商品券を販売したところ、3万セットのうち2万9,094セットが販売され、906セットが販売残数となっております。

本来であれば、この販売残数はあらかじめ予告しましたとおり、再抽せんし、当選決定とする運びになるところでございますが、地域経済の活性化に貢献し、協力したいというたくさんの町民の皆さんの気持ちに応えるため、誰ひとり取りこぼすことなく、落選した方全ての皆さんに1セット分購入できるよう商品券を用意したく、不足する218セット分の事業費及び関連する事務費について、総額で131万3,000円を追加し、引き続き地域経済回復の後押しをさせていただくものでございます。

以上が補正内容となりますが、財源の手当といたしましては前年度繰越金を予定しております。

ご審議の上、ご議決くださいますようお願い申し上げます。

◇議長（三友美恵子君） 提案説明が終了いたしました。

これより本案に対する質疑を求めます。

2番新井賢次議員。

〔2番 新井賢次君発言〕

◇2番（新井賢次君） 大型店舗等5社をはじめ予想以上の店舗が参加して、一定の成果を上げたかなど、私はこう認識しております。

ただ、取替えに来なかった人が、来なかったので、難しいのかもしれませんが、理由だとか、それから何セット申し込んだ人が何人来なかったのだろうかとか、そんな内訳は分かりますか。

◇議長（三友美恵子君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） お答えいたします。

来なかったというところにつきましては、残念ながら今のところ数字については把握ができておりません。実際話といたしますと、例えば5セット分購入できるようになりました。しかしながら、ご購入は3でよかったということで、そういう方もいらっしゃるということは伺っております。

◇議長（三友美恵子君） 2番新井賢次議員。

〔2番 新井賢次君発言〕

◇2番（新井賢次君） 結局セット数を減らした人と、それから申し込んだのだけれども、要するに1セット申し込んでも来なかったとか、そういう人がきつといたのだと思いますが、そういう数字は把握できていないと、こういうことですね。分かりました。

それと、あとこの結果として、今こういう状況なのですが、ほかの市町村でも同じような取扱いをしていました。それと比べて、町として現状についてどういうふう把握しておられますか。

◇議長（三友美恵子君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） 今回3万セットの予定に対しまして、今のところですと2万9,094セットと、およそ97%ほどがお買い求めいただいております。ほかの市町村では、二次の募集というようなことをされているというところもあるようにも伺っておりますので、非常に町内の町民の方々に好評いただいているものということで、今のところ認識しております。

◇議長（三友美恵子君） ほかに質問ございませんか。

8番高橋茂樹議員。

〔8番 高橋茂樹君発言〕

◇8番（高橋茂樹君） それでは、まず131万3,000円の補正予算、これの細かい内訳、そのセットの印刷代だとか配布手数料だとかの細かい内訳をまず聞かせてもらうのと、これ最初募集するときには、余った906セット、販売が残ったと、これは再抽せんで売るといっているので募集していたわけです。それを外れたというか、落選した1,124セットということは、1,124人の人に1セットずつということで配るといふような説明だと思っておりますけれども、申し込んだ人が余れば再抽せんになるというときに、1セットだか、私は5セット申し込んであって、再抽せんでもしかした

ら5セットになるのではないかと、そういう期待もある。その外れた人に全部1セットずつやるという考えの、先ほど町長が説明したように、熱い思いで経済対策に協力しようとしている人が外れたというような説明だったのだけれども、5セット外れた人が5セット欲しいなと思っていて外れてしまった。そういう熱い思いまでは救わないで、外れた人を1人1セットずつやろうというふうな熱い思いを出した根拠。ですから、1人1セットずつにした根拠と131万3,000円の金額の細かい内訳を教えてください。

◇議長（三友美恵子君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） まず、補正予算の金額の根拠、内訳でございますけれども、現在3万セット販売予定で、販売が残ってしまっているもの906セットございます。その906セットあるわけでございますけれども、実際に抽せんから漏れてしまったもの、これが1,124名の方がいらっしゃいます。ということで、その1,124名と906セット、これの差額分というのは今回増刷するということで対応させていただきたいということで、その数字が218冊ということになります。プレミアム分ということでございますと、1冊当たり5,000円ということでございますので、そちらの分が合計で109万円。それから、今回増刷分218セット必要になってまいりますので、そちら印刷する分が18万7,000円。それから、これをお店で使用されまして、実際にそのお店が金融機関に持ち込んで、その金融機関の中でお金を商店のところに振り込みする、お金を動かすという手続が出てまいります。その際の換金の手数料ということで、こちらは1枚当たり11円必要となってくるところでございますので、218セット分、1セット15枚ございますので、それに1枚11円掛けますので、こちらが3万5,970円ということで、合計いたしますと131万2,970円というような金額となっております。

それから、お問合せいただいております、抽せんから漏れてしまって、5セット欲しかったけれども、1セットにという、全員の方にということのその理由でございますけれども、まずこれだけ8,000人を越えるような、そうした多くの方々からお申込みをいただいている。これは、非常に皆様の関心も高い事業であるというふうなことで認識しております。その中で、本来であれば皆様ご購入希望全部にお応えできれば一番いいわけでございますけれども、今回予定数量というものがございまして、抽せんによりまして購入できた方、それからできなかった方といったものが現在のところ分けられてしまっているという状況でございます。できる限り多くの方々に、例えば900セットということになりますと、単純に5セット分ずつということになりますと、最少ですと180名の方が二次で当選する可能性が出てくるわけでございますけれども、それよりもより広く、大人数の方々にこの商品券そのものを購入して、そして地域経済の後押しをしていただきたい。そういう思いから、お一人当たり1セット分を用意させていただきたいということでの今回の増刷の計画となっております。

以上です。

◇議長（三友美恵子君） 8番高橋茂樹議員。

〔8番 高橋茂樹君発言〕

◇8番（高橋茂樹君） 申し込んだ人全員に1セットずつ、抽せんに漏れた人は1セットずつということなのですが、せっかく申し込んだ熱い思いに町が応えようとしているのであれば、申し込んだ枚数に、5セット申し込んである人には5冊増刷してやってもいいのではないかと。そういう考えは起きなかったのですか。

◇議長（三友美恵子君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） 当然申込みで抽せんで漏れてしまったセット数といいますと4,339セットあるわけですが、今回抽せんをまず第一にはさせていただいた。そこでご購入いただける人、いただけない人といったことで一次ではふるい分けがされているということもございます。今回は、販売することがかなわなかった方に対して、その多くの方に商品券をお買い求めいただきたいというところから販売できればということであったわけでありまして、その枚数につきましては第一次の抽せんでひとまず結果として出てきてしまっていたわけですが、その関係もございまして希望の数量、枚数、セット数、こちらにつきましては大変申し訳ございませんけれども、1セットということで限定をさせていただいたということでございます。

◇議長（三友美恵子君） 8番高橋茂樹議員。

〔8番 高橋茂樹君発言〕

◇8番（高橋茂樹君） 1人1セットだけは抽せんから漏れた人にやろうという形で、漏れた人の残念賞みたいな感じなのだけれども、やっぱり当初の予定は漏れた枚数だけまた抽せんで販売するということなのだから、それを全員に1セットにして。確かに全員の希望どおり、希望枚数かなえてやるのがいいかなとは思いますが。だけれども、1セットに減らして、はがきを出した人には1冊ずつという格好でやって、それはお情けだと。あなたは落選しているのだからという格好になってくるわけ。そうすると、当初やったとおりの落選は落選で、次のを増刷しないで906セットだけ販売しなくなった、そのところが一番知りたい。どういう気持ちでしたか。

◇議長（三友美恵子君） 副町長。

〔副町長 古橋 勉君発言〕

◇副町長（古橋 勉君） 高橋議員のご意見もよく分かるのですが、先ほど齋藤課長が申し上げましたように、1,100人という多くの方がくじから外れたわけですが、その外れて、今度売れ残ったくじが900セット、その扱いをどうするか。当初どおり抽せんすればというと、齋藤課長が言ったように、200人弱の人が当選するのだと思います。そうすると、やっぱり800人以上の人が外れてしょうがないねという考え方もあろうかと思いますが、役場としては数多くの人が使って

もらうということが経済効果、数多くの人を使うということは、数多くの商店だとかお店だとか行く可能性があるということで、130万円余の補正でそういう効果のほうが高いのではないかと、そういう判断をいたしました。

一方、では全員にというご意見もありましたけれども、そこまでの予算措置というの難しいなということで、どういう選択をしたらいいかということで町長を含め相談して、外れだけでも、1セットずつやったほうが広い範囲で、多くの店で使ってもらえるのではないかと、そういう判断でございました。

◇議長（三友美恵子君） 町長。

〔町長 石川眞男君発言〕

◇町長（石川眞男君） 補足でちょっと答えさせていただきます。

このプレミアムつき商品券の往復はがきでの申込みのときは、果たして売り切れるのだろうかという心配が実は大分ありまして、本当に申込みがそれだけあるのかどうかというところがまず心配、多くの方が心配していて、開けてみたら最終日にぐっと伸びて、それで締切日の消印のはいいのけれども、私どもが当選のとき、くじ引するとき、まだ伊勢崎市のほうから前日に投函してきたもの、これは無効になりますし、そういう意味で当初本当にこれだけの商品券の申込みがあるのだろうかというところでぐっと伸びたという、そこが一つの想定外だったのです。それで、こういうことに慣れている人は、1割は来ないよと。大体1割は売れ残るのですよというぐらいのところだったけれども、実は97%近い引取りがあったという中で、これは町民の皆さんがこのプレミアムつき商品券を通じて町の経済を少し元気にしてやる、その呼び水にしてくれるのだなという思いもありまして、それで23日現在で取扱い可能店舗が190店舗にもなっているのです。それで、私の知る限りで言えば、新規に商工会に加入された事業者が9事業者あるということもあって、これまでのプレミアムつき商品券の販売とはちょっと違う、いや、大分違う雰囲気があるという中で私たちの決断というか、判断したのですけれども、そのことをひとつご理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。

◇議長（三友美恵子君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（三友美恵子君） 質疑終了と認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（三友美恵子君） ご異議なしと認めます。

これより本案に対する討論を求めます。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（三友美恵子君） 討論なしと認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（三友美恵子君） ご異議なしと認めます。

これより本案に対する表決を行います。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

◇議長（三友美恵子君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

————— ◇ —————

○字句等整理委任について

◇議長（三友美恵子君） お諮りいたします。

玉村町議会会議規則第45条の規定に基づき、本会議の議決の結果、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

◇議長（三友美恵子君） ご異議なしと認めます。

よって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定いたしました。

————— ◇ —————

○閉 会

◇議長（三友美恵子君） 以上をもちまして、本臨時会に上程されました議案の審議は全て終了いたしました。慎重審議をいただき、誠にありがとうございました。

これをもちまして令和2年玉村町議会第6回臨時会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時53分閉会